



よみきかせだより

NO.6



鈴川小学校
読み聞かせの会



♪みんながわらってる そのかおがうれしくて なんどもありがとう♪

感謝の会ありがとうございました！

とってもすてきな
お花をいただきました



2/8の「感謝の会」にて、6年生の代表の方が感謝の言葉と記憶に残った本の感想を話してくれました。物語の内容が心に残ったことは読み手として嬉しい限りです。また、「これからもよろしくお願いします」という在校生や新1年生のためを思いやった言葉は私たちの胸にとっても響きました。「ありがとうの花」の合唱や退場時に作ってくれたアーチはいい思い出になっただけでなく私たちのやる気の種になり、「これからも読み聞かせを通して、子どもたちの応援をしていきたい」と改めて思うことが出来た会でした。

「道ばたの石」 浜田広介・折節の歌より

道ばたの 石はいい いつも青空の下にかがみ
夜は星の花をながめ 雨にぬれても 風でかわく
それにだいいち だれでも 腰をかけてゆく



休み石とは、通行人が休めるようにと道端に置かれた石のことで、残念なことに時代の変化と共に取り除かれてしまったものが多いそうです。休み石に座ってひと休みし、そしてまたヨシ！と歩き出す……。学校での読み聞かせも、休み石のように、子どもたちにとって気持ちを切り替えるためのひと時であることを願っています。

ありがとう！

おおぞら学年の皆さん、6年間、読み聞かせをきいてくれてありがとう。

「前より本を読むのが好きになった」「面白かった」と言ってくれた皆さんに読んだ本の合計は約320冊。そのうちの一冊でも心の中に残っていれば嬉しく思います。(I)

児童の皆さん、学校の中でも外で会った時でも元気な挨拶をありがとう。「今度はどんなお話を読もうかな？楽しんでくれるかな？」と、皆さんのことを考えながら本を選ぶのはとても幸せな時間です。雪解けの水が大地にしみ込むように、皆さんの心にじんわりしみ渡るお話をお届けできたらい

来年度のよみきかせも
おたのしみ!



この本、知ってる？

『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 1~7巻』

廣嶋 玲子 (作) jyajya (絵) : 偕成社



「いらっやい。ここは銭天堂。幸運をもとめる幸運な人だけが、見つけられる店でござんす。」運よく駄菓子を買えたとしてもその次に待ち受けているのは……!? <児童書>

『きみの行く道』

ドクター・スース (作) 伊藤 比呂美 (訳) : 河出書房新社



卒業を迎えるすべての人へ贈る、不思議な冒険物語。人生は平坦な道ばかりじゃない。デコボコ道があってもくじけちゃダメ。だって、「きみなら、山だって、うごかせるんです！」

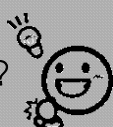
『名馬キャリコ』

バージニア・リー・バートン (作) せたていじ (訳) : 岩波書店 <初版1979年>



カウボーイの少年ハンクと馬のキャリコが牛どろぼうを捕まえるために大活躍！痛快なストーリーとコマ割の場面展開は、まるで映画のよう。古典的な名作のおもしろさを楽しんで！

春になったら
はじめてみませんか？



読み聞かせボランティアは

子どもと本のかけ橋

読みボラ
随時募集中

担任の先生を通してお申し込みください